



## 2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年8月14日

上場会社名 株式会社シノプス 上場取引所 東  
 コード番号 4428 URL <https://www.sinops.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 南谷 洋志  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部担当 (氏名) 武谷 克裕 TEL 06 (6341) 1225  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第2四半期の業績（2023年1月1日～2023年6月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	827	28.1	137	120.2	136	119.5	89	110.6
2022年12月期第2四半期	645	45.1	62	—	62	—	42	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	14.40	14.33
2022年12月期第2四半期	6.87	6.79

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	2,060	1,647	79.9
2022年12月期	2,005	1,543	76.9

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 1,646百万円 2022年12月期 1,541百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,766	21.4	250	11.4	250	11.5	161	5.0	26.03

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期2Q	6,236,000株	2022年12月期	6,221,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	34,997株	2022年12月期	47,274株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期2Q	6,182,494株	2022年12月期2Q	6,152,706株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2023年8月17日（木）に機関投資家・アナリスト向けの決算説明会をオンライン配信にて開催する予定です。また、四半期決算説明資料は、TDnetで開示するとともに当社ウェブサイトにも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### a. 経営環境

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、資源及びエネルギー価格の高騰等による物価高、世界的な金融の引き締め等を背景とした不安定な為替相場等、依然として不透明な状況が続いております。一方で、社会全体の改革を目的としたDX（デジタルトランスフォーメーション）推進が浸透しつつあり、小売業においては恒常的な人手不足への対応も引き続き必要とされる中、業務効率化のためのIT投資は今後増加していくものと予想されます。さらに、持続可能な開発目標（SDGs）の採択に基づいた食品ロス削減運動も社会課題としての対応が急がれております。そのため、省力化・食品ロス削減に貢献できる当社の需要予測・自動発注サービスに対するニーズが高まっており、今後もさらなる市場拡大が見込めます。

その結果、当社の導入実績は、2023年6月30日時点でARR（注1）は1,168,857千円（前四半期比119,541千円増・11.4%増）、クラウドサービスの有償店舗数2,552店舗（同33店舗増）（注2）、クラウドサービスの有償アカウント数は10,014アカウント（同1,944アカウント増）（注3）、シェア率は18.8%（前年同期比0.2pt増）、契約企業数は106社（同5社増）に増加しております。当第2四半期累計期間における売上高は827,394千円（前年同期比181,512千円増・28.1%増）、営業利益は137,129千円（同74,863千円増・120.2%増）、経常利益は136,219千円（同74,159千円増・119.5%増）、四半期純利益は89,041千円（同46,751千円増・110.6%増）となりました。

（注1）Annual Recurring Revenueの略語。2023年6月末時点のMRR（Monthly Recurring Revenue）を12倍にして算出。MRRは対象月の月末時点における有償契約ユーザー企業に係る月額料金の合計額（一時収益は含まない）。

（注2）有償契約でクラウドサービスを利用している店舗数（旧レンタルサービス利用店舗を除く）。

（注3）有償契約しているクラウドサービス利用数（旧レンタルサービスを除く）。

#### b. 経営成績の分析

（単位：千円）

	2022年12月期 第2四半期累計期間	2023年12月期 第2四半期累計期間	増減額	増減率
売上高	645,882	827,394	181,512	28.1%
売上原価	363,535	411,769	48,233	13.3%
売上総利益	282,347	415,625	133,278	47.2%
販売費及び一般管理費	220,080	278,495	58,415	26.5%
営業利益	62,266	137,129	74,863	120.2%
経常利益	62,060	136,219	74,159	119.5%
四半期純利益	42,289	89,041	46,751	110.6%

#### ①売上高

クラウド売上高（過去の経営成績の分析におけるレンタル売上高を含めております。）は、既存ユーザーへのクロスセルが主要因となり、382,311千円（前年同期比114,305千円増・42.7%増）となりました。パッケージ売上高は、大型スーパーの新規受注が主要因となり、154,132千円（同89,109千円増・137.0%増）となりました。導入支援売上高は、127,093千円（同30,545千円減・19.4%減）となりましたが、クラウドサービスの導入は計画通りに推移しております。サポート売上高は既存ユーザーの店舗展開が進んだことが主要因となり、163,856千円（同8,641千円増・5.6%増）となりました。その結果、当第2四半期累計期間における売上高は827,394千円（同181,512千円増・28.1%増）となりました。

#### ②売上総利益

当第2四半期累計期間は、クラウドサービスの展開を加速させるための人材強化に伴う製造部門の件数費や外注費の増加、クラウド利用店舗拡大に伴う通信費の増加が主要因となり、売上原価が411,769千円（前年同期比48,233千円増・13.3%増）となりました。その結果、売上総利益が415,625千円（同133,278千円増・47.2%増）となりました。

③営業損益・経常損益

当第2四半期累計期間は、売上総利益は前年同期比で133,278千円増加したものの、クラウドサービスの拡販を目的とした人員増加に伴う人件費や採用費の増加が主要因となり、販売費及び一般管理費が278,495千円（前年同期比58,415千円増・26.5%増）となりました。その結果、営業利益が137,129千円（同74,863千円増・120.2%増）、経常利益は136,219千円（同74,159千円増・119.5%増）となりました。

④四半期純損益

当第2四半期累計期間における四半期純利益は、89,041千円（前年同期比46,751千円増・110.6%増）となりました。

なお、当社は「sinops事業」の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第2四半期会計期間末における総資産は、2,060,507千円（前事業年度末比54,816千円の増加）となりました。主な要因は、売掛金が141,546千円減少した一方で、現金及び預金が155,416千円、その他流動資産に含まれる前払費用が27,383千円増加したこと等によるものであります。

②負債

負債は、412,825千円（前事業年度末比49,305千円の減少）となりました。主な要因は、未払法人税等が21,216千円、その他流動負債に含まれる未払金が33,991千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

③純資産

純資産は、1,647,681千円（前事業年度末比104,122千円の増加）となりました。主な要因は、利益剰余金が86,964千円増加したこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期通期の業績予想につきましては、2023年2月13日の「2022年12月期決算短信」で公表しました通期の業績予想から変更ありません。

また、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,300,281	1,455,697
売掛金	273,806	132,260
仕掛品	2,992	3,713
その他	36,196	62,520
流動資産合計	1,613,276	1,654,190
固定資産		
有形固定資産	32,320	29,696
無形固定資産		
ソフトウェア	219,352	228,120
その他	8,046	21,935
無形固定資産合計	227,399	250,056
投資その他の資産	132,694	126,563
固定資産合計	392,414	406,316
資産合計	2,005,690	2,060,507
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	14,484	17,999
1年内返済予定の長期借入金	28,750	8,800
未払法人税等	70,105	48,888
製品保証引当金	13,055	14,627
受注損失引当金	914	—
その他	330,721	318,277
流動負債合計	458,031	408,593
固定負債		
退職給付引当金	4,099	4,231
固定負債合計	4,099	4,231
負債合計	462,131	412,825
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	425,537	426,775
資本剰余金	386,784	387,205
利益剰余金	788,292	875,257
自己株式	△58,725	△42,536
株主資本合計	1,541,888	1,646,702
新株予約権	1,670	979
純資産合計	1,543,559	1,647,681
負債純資産合計	2,005,690	2,060,507

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	645,882	827,394
売上原価	363,535	411,769
売上総利益	282,347	415,625
販売費及び一般管理費	220,080	278,495
営業利益	62,266	137,129
営業外収益		
受取利息	6	7
受取手数料	336	75
保険事務手数料	40	43
その他	247	32
営業外収益合計	630	158
営業外費用		
支払利息	328	24
売上債権売却損	—	319
譲渡制限付株式報酬償却損	—	681
その他	508	42
営業外費用合計	836	1,068
経常利益	62,060	136,219
特別利益		
新株予約権戻入益	—	164
特別利益合計	—	164
税引前四半期純利益	62,060	136,384
法人税、住民税及び事業税	11,281	41,547
法人税等調整額	8,489	5,795
法人税等合計	19,770	47,343
四半期純利益	42,289	89,041

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	62,060	136,384
減価償却費	40,705	39,049
受取利息及び受取配当金	△6	△7
支払利息	328	24
売上債権の増減額 (△は増加)	35,336	141,546
棚卸資産の増減額 (△は増加)	5,352	△721
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,987	3,515
差入保証金償却額	1,035	—
株式報酬費用	3,261	7,999
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	2,407	1,572
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	132	132
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	1,181	△914
契約負債の増減額 (△は減少)	22,351	24,616
未払金の増減額 (△は減少)	△35,052	△23,660
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△27,671	△3,396
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	△1,761	△116
預り金の増減額 (△は減少)	△5,874	327
その他	△14,942	△21,231
小計	90,831	305,119
利息及び配当金の受取額	6	7
利息の支払額	△328	△24
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△72,888	△62,647
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,621	242,454
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	—	△10,888
無形固定資産の取得による支出	△49,700	△58,525
差入保証金の回収による収入	—	375
投資活動によるキャッシュ・フロー	△49,700	△69,038
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△19,950	△19,950
自己株式の取得による支出	△89,974	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	4,030	1,950
財務活動によるキャッシュ・フロー	△105,894	△18,000
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△137,974	155,416
現金及び現金同等物の期首残高	1,425,541	1,300,281
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,287,567	1,455,697



(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。